

加振装置の特徴



- (1) **汎用性**: 一台で水平方向用と垂直方向用のパッケージ型加振体の加振ができる。また、パッケージクランプ部を取外すことによって、一般の構造物の加振もできる。
- (2) **操作性**: パッケージ型加振体を、クランプ部による締付けだけで簡単に固定できる。
- (3) **発生周波数**: 周波数表示付きのコントローラを用いて、0.5~20Hzの範囲で調整できる。
- (4) **加振量(振幅)**: 共振時等の加振体の動きに合わせて、5段階(1mm, 2mm, 3mm, 4mm, 5mm)の調整ができる。
- (5) **保管・運搬性**: いずれも容易である。
- (6) **安全性**: 本加振装置は、置くだけで使用できるように設計されているが、縦置きで使用する際は転倒防止のため踏ん張り脚を使用する。不要時は本体横向きに固定しておく。加振体と加振状態によっては(とりわけ発生周波数と加振量のいずれもが大きい場合)、加振部が動くことが想定される。この場合は、加振部を固定して使用する必要がある。

加振装置を倒して水平方向用加振もできる

- ・タワー型加振体等の加振時に利用
- ・加振体取付ブラケット(A4タイプ)を外して使用
- ・加振体固定用のタップ付き(M4、12箇所)

